

膠原病リウマチ痛風センター主催  
**第39回 公開講座**  
**—自分の病気を知ろう—**

日時 平成27年5月30日（土） 13：00～16：00 （12：30～ 受付開始）

場所 東京女子医科大学 弥生記念講堂（本院 糖尿病センター隣り）  
東京都新宿区河田町8-1  
\*当センター本部・NSビルではありません。

内容

《 第1部 》 13：00～14：40

『リウマチとともに毎日を快適に過ごす』・・・桃原 茂樹副所長  
～発症や疾患の活動を予防しよう～

最近、薬の進歩により、リウマチの治療は寛解を目標とし、そしてそれが現実のものになってきました。でも、薬だけに頼るのではなく、日常生活を見直す事もとても大切です。

喫煙がこれまでリウマチを悪くする、というデータが多く報告されてきましたが、そればかりではありません。紫外線、アルコール、肥満、ビタミンD不足、歯周病、ストレスなど様々なものも病気に関係していると言われています。

今回は、日常生活の過ごし方、そしてそれに加えてお薬の服用、場合によって手術やリハビリなどトータルマネージメントについてお話をしたいと思います。

『在宅皮下注射患者アンケート結果報告』・・・森山 道代看護師長  
・・・井上 奈津子看護師

平成26年8月から10月にかけて、当センターで在宅皮下注射をされている患者さんにアンケートをさせていただき、約450名の方から回答をいただきました。平均年齢50歳、9割の方が女性で、半数の方が仕事をされていました。

在宅移行にするにあたっての不安や医療への要望など貴重なご意見をいただきました。

今回の公開講座で、アンケートの結果と今後の課題、改善策などお話しさせていただきます。

『関節リウマチ診療における関節超音波検査の有効性』・・・花岡 成典医師

関節リウマチの治療は生物学的製剤をはじめとした有効性の高い薬剤の登場により、より早期からの診断および治療介入が重要とされています。関節リウマチに対しての画像診断としては、X線・MRI・超音波などが用いられていますが、超音波検査は外来でも簡便に繰り返し検査を行なうことができ、また従来のX線では評価が困難であった軟部組織や早期の骨びらんの評価を行うことが可能です。関節超音波検査は関節リウマチの早期診断のみでなく、治療効果の評価ツールとしても有用性が注目されています。

本講演では、関節超音波検査について当院での取り組みを含めて解説します。

《 第2部 》 療養相談 15：00～16：00

内科（生物学的製剤・くすり他）・整形外科（手術）  
看護・リハビリ・食事指導・治験

大変ご好評いただいている、生物学的製剤・手術など経験した患者さんに協力していただき、患者さんが患者さんに相談するコーナーを設けます。

その他に、薬や病状についての質問など、内科・整形医師に直接相談出来る場も設けますので、ふるってご参加ください。